



令和5年度「後期 学校評価アンケート（結果）」と「学校運営協議会（助言）」

生徒・保護者の皆様には、Google フォームによるアンケートにご回答いただきありがとうございました。アンケート結果および分析を、学校運営協議会（コミュニティスクール）に諮り、結果や分析についてご意見、次年度改善策の策定に向けてのご助言を頂戴しました。これらの結果、ご意見・ご助言を令和6年度の教育活動の改善と具体的な取組の立案・実行に活かしてまいります。

アンケートの回答…①あてはまる ②どちらかというにあてはまる ③どちらかというにあてはまらない
④あてはまらない ⑤わからない（※⑤は保護者アンケートのみ）
各符号… ◎ {各重点の目標} ・ {学校運営協議会助言等} ☆ {改善策(次年度に向けて)}

(1) 確かな学力の定着

◎学習指導要領の趣旨に沿い、生徒が学ぶ喜びと達成感を感じられる授業を実践する。

教員『わかる授業、達成感のある授業となるように努めた』（①+②）

R5.7月：100% **R5.12月：100%** A:95%以上 B:90%以上 C:80%以上 D:80%未満

生徒『学校の授業がわかる』（①+②）

R5.7月：87% **R5.12月：87%** A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満

保護者『お子さんは、授業がわかりやすいと言っている』（①+②）※「⑤わからない」16%

R5.7月：66% **R5.12月：62%** A:80%以上 B:70%以上 C:60%以上 D:60%未満

[学校運営協議会]

- ・生徒のグループワークへの参加意欲が高く、学びの実感が高まっている様子が窺えた。ティーム・ティーチングの支援でグループによる差を埋める等の先生方の支援も充実している。
 - ・学力調査の結果や各種大会結果から、文武両道を達成している様子が分かる。また、夏休みの課題においても、自分の良さを生かせる課題を選択することで、多くの受賞につながり、自信につながっている。
- ☆生徒の実態をよく把握し、生徒の思考の流れに沿った授業展開ができるよう教材研究に努めます。併せて、ICTも活用しながら、レベルに応じたヒントや適用問題を準備して個別最適な学びの充実を図ります。
- ☆今後も家で語りたくなるような学ぶ喜びを感じる授業、わかる、達成感のある授業を目指し、授業改善に努めます。また、家庭での学習方法等も具体例を挙げながら指導し、計画的な学習を促していきます。

(2) 豊かな心の育成

◎生徒が自らの良さや成長を実感できるよう、取組の目的・目標を明確にし、質を向上させる。

教員『いじめに対する未然防止の指導や事後指導を丁寧に行った』（①+②）

R5.7月：100% **R5.12月：95%** A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満

生徒『学校はいじめを許さず、いじめの解決に向けて対応してくれる』（①+②）

R5.7月：94% **R5.12月：88%** A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満

保護者『学校はいじめの未然防止や早期発見、適切な対応に努めている』（①+②）※「⑤わからない」42%

R5.7月：44% **R5.12月：39%** A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満

教員『学校行事や生徒会活動が生徒の主体的活動になるよう指導した』（①+②）

R5.7月：97% **R5.12月：97%** A:85%以上 B:75%以上 C:65%以上 D:65%未満

生徒『学校行事や生徒会活動に積極的に取り組んでいる』（①+②）

R5.7月：90% **R5.12月：88%** A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満

生徒『自分は学校の一員だと感じている』（①+②）

R5.7月：92% **R5.12月：91%** A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満

保護者『お子さんは学校行事や生徒会活動に取り組んでいる』（①+②）※「⑤わからない」6%

R5.7月：85% **R5.12月：86%** A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満

[学校運営協議会]

- ・学校に足を運んでくれる機会を増やせば、保護者の理解も高まるであろう。そのためには、子供たちの様子を見たいと思わせるような授業や活動が増やしていく必要がある。
- ・いじめについてもっとオープンに話し合える雰囲気があるとよい。
- ☆引き続きアンケートや懇談を計画的に実施し、目の前の生徒一人一人と向き合いながら、必要事項は対応した教員だけでなく全体に共有して申し送ることも大切にしていきます。
- ☆現状の周知方法に加えて、道徳の授業のことや生活委員会の取組などの未然防止の指導についても保護者に周知していきます。
- ☆生徒会活動の充実を継続させるとともに、生徒会や委員会から提案された取組を一人一人が積極的に取り組めるように各学級での働きかけが効果的に行われるようにします。

(3)健全な体の育成

◎生徒が自己の健康と安全への意識と実践力を高めることができるようにする。

教員『部活動に係る活動方針に従って活動している』(①のみ)				
R5.7月:82%	R5.12月:78%	A:80%以上	B:70%以上	C:60%以上 D:60%未満
生徒『部活動に積極的に取り組んでいる』(①+②)				
R5.7月:89%	R5.12月:84%	A:90%以上	B:75%以上	C:60%以上 D:60%未満

[学校運営協議会]

- ・校舎の懸垂幕から、部活動の活発さが伝わってくる。子供たちの自信にもなるし、その頑張りが、地域の励みや誇りにつながっていく。
- ・休日の部活動の地域移行では、地域の施設を活用して進めていけるとよい。
- ☆「活動方針」のどの項目が達成できなかったのかを追加調査で把握し、その対策を講じて、次年度の活動計画作成に生かします。
- ☆柔軟な部活動への参加を認めつつ、参加形態に合わせた個人の目標を明確にさせます。短時間でも集中して効果的な練習を行えるように努めます。

(4)持続可能な学校教育の体制づくり

◎安全安心で学びがいのある学校づくり、働きがいのある学校づくりを進める。

教員『保護者との連携について意識的に取り組んだ』(①+②)				
R5.7月:100%	R5.12月:95%	A:90%以上	B:80%以上	C:70%以上 D:70%未満
教員『本校の業務改善は進んでいる』(①+②)				
R5.7月:83%	R5.12月:85%	A:90%以上	B:75%以上	C:60%以上 D:60%未満
教員『時間外勤務時間』(月平均時間)				
R5.9月C(55h)、10月B(54h)、11月B(45h)、12月A(37h) ⇒ B				
A:45h以下 B:60h以下 C:70h以下 D:70hより多い				

[学校運営協議会]

- ・学校公開の告知の仕方を工夫して、見守り隊など地域の人にも見てもらえるようにしていけるとよい。
- ☆メールからHPへリンクした案内を継続し、学校の様子を知る機会を増やします。併せて、学校の様子を知らせるHPへの投稿に、より多くの職員で関わることができるようにします。
- ☆繁忙期における成績処理等の時間確保を来年度も継続して行います。
- ☆クロムブックの活用事例の蓄積とさらなる活用方法の研究をICTコーディネーターを中心に行います。

◆[自由記述欄]について

アンケート末『自由記述欄』には、42件の記述をいただきました。ありがとうございました。ご意見、疑問に思われたこと、感謝のお言葉など様々でした。学校だよりを通してお答えできないものもございましたが、いただいたご意見等は、より良い学校づくりのための参考とさせていただきます。

子どもたちのよりよい成長のための相談事などございましたら遠慮なくご連絡ください。今後ともご協力くださいますようお願いいたします。

<p>布水中学校のホームページにも学校生活のようすを随時記載していますので、ぜひご覧ください。 学校への質問やご意見などがございましたら下記へどうぞ。 連絡先 076-248-0039 (担当 教頭 南・主幹 東方) fusuityul@ed.city.nonoichi.ishikawa.jp</p>
